

編集後記

編集長 小西 敦

最初に、お忙しい中、巻頭言をご執筆いただいた六井淳学部長、「ネット虐めの抑制における必要な条件」という、現代社会における重要なテーマを扱った研究ノートをご投稿くださった沖本まどか先生、その他本号の発行にご尽力いただいた皆さま、特に、タイトな日程の中で、事務作業を行ってくださった増子かおり様にお礼を申し上げます。

本号には、本学部の2023年度の卒業論文リストが掲載されています。さまざまなテーマが扱われていて、興味深いです。本学部では、この卒業論文の執筆と報告が、卒業の必修要件です。多くの学生さんにとっては、この卒業論文執筆が本格的な論文を書く初めての機会ではないでしょうか。限られた時間の中で、研究をし、その成果をまとめ、文章化する経験は、学生さんのこれからの人生において貴重な財産となると思います。

卒業論文の作成で大切なことは多岐にわたると思いますが、ここでは、テーマの早期設定の重要性を述べたいと思います。これまでの主査や副査として指導させていただいた経験からは、テーマ設定を早めに行った学生さんほど、論文の出来栄や学生さん自身の満足度が高いように感じます。テーマを早めに決めることによって、先行研究を多読できますし、思索を深めることができます。また、テーマを意識していると、それに関する情報を、日常生活の中で得ることもあります。もちろん、テーマを早めに決めても、途中で、テーマの修正が必要となることもあります、しかし、こうした軌道修正や不意の事故・体調不良など予測できない事態に備えるためにも、テーマ設定を早期に行って、時間的な余裕を持つことが大切だと思います。

来年度の本紀要にも、興味深いテーマを扱った卒業論文のリストが掲載されることを期待しています。また、本紀要は、本学部に関係する皆さまからの論攷のご寄稿をお待ちしております。ぜひ、素晴らしいテーマのご論攷をご投稿ください。